

第6学年外国語活動指導案

尾道市立日比崎小学校

「Hi, friends!」の活用の工夫をし、比較することで、言語や文化に対する理解を深める授業

- 1 学 年 第6学年
- 2 場 所 6年教室
- 3 単元名 「夢を英語で語ろう～ひびっこスピーチコンテスト～」
- 4 単元について

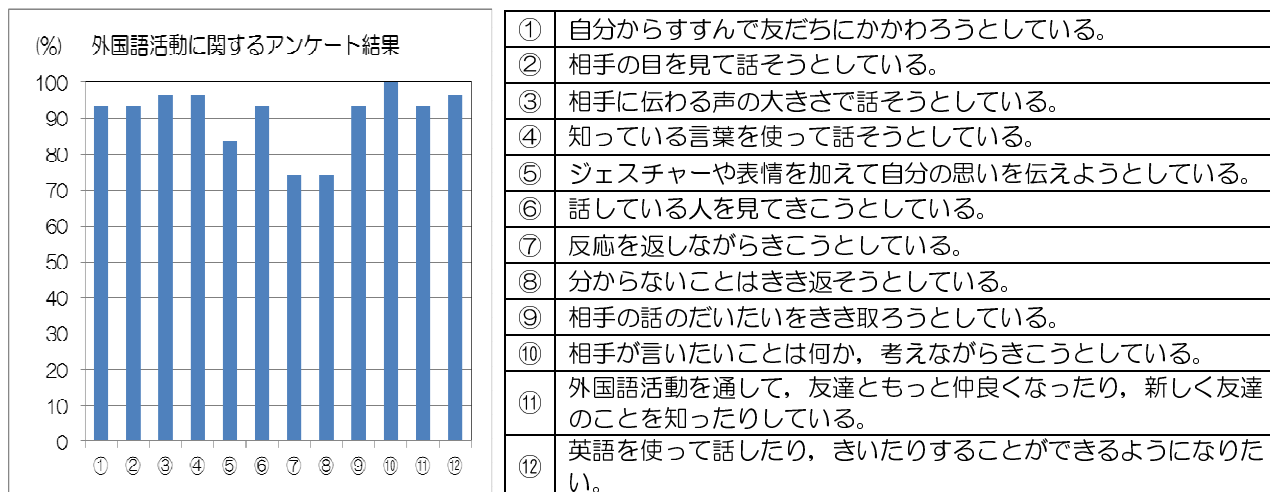
○ 本単元は、スピーチによって自分の夢や中学校でがんばりたいことなど、自分の思いをたくさんの人に伝えることを通して、相手や場に応じたコミュニケーション能力を付けることをねらいとしている。単元のゴールとして「ひびっこスピーチコンテスト」を設定し、学級の友達だけでなく、ALTや中学校の先生、5年生にもスピーチをきいてもらい、審査してもらおう。そして、審査によって選ばれた代表児童には、学年の友達や全校児童に向けてスピーチをする機会を設ける。伝える対象が異学年や大人にも及び、大勢の前でスピーチを行うということから、相手や場に応じた話し方を意識させ、自分の思いがしっかりと伝わるように話し方を工夫させることのできる単元である。この単元は、相手が伝えたいことのおおまかな内容を捉えながらきくということから、『聞く』『聴く』『訊く』の3段階モデルのうち、「訊く（吟味する）」の「相手の意見の根拠となることばに着目し、自分や相手の意見をまとめるためにきいている」をめざしている。

そのために必要となる主な言語材料は、“I want to be a (職業) like (人物).” “I am good at (教科).” “I want to study (教科) in junior high school.” “I want to join (クラブ名).” “Thank you for listening.” である。“I want to ____.” は、“I want to be a (職業).” を含め、“I want to go ____.” “I want to play ____.” などとこれまでに学習したことのある表現である。“Thank you for listening.” は、講演やプレゼンテーションなどと同様、スピーチの最後に締めくくりの言葉として用いられる表現で、英語でも日本語と同様に終わりを示す言葉があることに気付かせることができる。

本単元をこの時期に扱うのは、将来の夢の実現に向け、総合的な学習の時間「12才のハローワーク」での、なりたい職業の仕事内容やなりたい職業に就くまでの過程を調べる学習と関連をさせながら進めていくことによって、意欲を高めていくことができるからである。児童は、これまでに「修学旅行でインタビューをしよう」の学習で、外国人観光客にインタビューをしたり、「行ってみたい国を交流しよう」の学習で、ALTや留学生、友達に自分の行ってみたい国を伝えたりするなど、相手とのやりとりを楽しむ活動を行ってきた。本単元では、これまでの学習と比較し、相手や場の違いを意識させ、他者に対して自分の思いを伝えることの難しさや大切さを実感させながら、積極的に自分の思いを伝えようとする態度を育てたいと考える。卒業を間近に控えた児童にとって、中学校でがんばりたいことや将来の夢について大勢の前で語ることは、自らを見つめ直し、自分の決意を固くすることにつながる。この単元を通して、児童が今までに学習した表現を使い、伝え方を工夫しながら英語で話す集大成にしたいと考える。

本単元は、「Hi, friends! 2のLesson 8」との関連を図っている。単元前半部分のきく活動の場面で活用し、繰り返し興味をもってきかせることで、英語と日本語での職業を表す語の面白さに気付かせるとともに、世界には、様々な夢をもつ同年代の子どもがいることにも気付かせたい。

○ 外国語活動についてのアンケートの結果、本学級の児童の実態は次の通りであった。



①	自分からすすんで友だちにかかわろうとしている。
②	相手の目を見て話そうとしている。
③	相手に伝わる声の大きさと話そうとしている。
④	知っている言葉を使って話そうとしている。
⑤	ジェスチャーや表情を加えて自分の思いを伝えようとしている。
⑥	話している人を見てきこうとしている。
⑦	反応を返しながらかきこうとしている。
⑧	分からないことはきき返そうとしている。
⑨	相手の話のたいをきき取ろうとしている。
⑩	相手が言いたいことは何か、考えながらかきこうとしている。
⑪	外国語活動を通して、友達ともっと仲良くなったり、新しく友達のことを知ったりしている。
⑫	英語を使って話したり、きいたりすることができるようになりたい。

きくことについては、項目⑩の数値が高いことから、知っている言葉や表現から話の大体の内容をきき取ろうとしていることが分かる。これに対して⑦や⑧の数値が低いことから、分からないことをきき返してまで相手のことを知ろうとする意欲が高まっていないことが分かる。しかし、項目⑩については、1学期に比べて数値が高くなってきている。これは、「修学旅行でインタビューをしよう」の学習で、相手が話したことに對して質問しながら会話を続けることができるように、ALTやJTEが話した内容を理解しているかどうか児童に確認し、きき返す表現を繰り返し声に出して慣れさせてきたからだと考えられる。項目⑦については、1学期からあまり変化が見られないので、お互いに気持ちのよいコミュニケーションがとれるように、どのような反応を返せば相手に自分の気持ちを伝えることができるのかを考えさせていきたい。

話すことについては、項目⑤の数値が1学期に比べて高くなってきている。これは、「修学旅行でインタビューをしよう」の学習で、外国人観光客に質問したり、質問に答えたりしながら会話を続けるという目的意識をもたせて活動させてきた成果の表れだと考えられる。また、実際にインタビューをして、学習してきた言葉や表現だけで会話を続けることの難しさ、また、ジェスチャーを使って自分の伝えたいことが伝わったという達成感を味わわせることができたことで、コミュニケーションにおける非言語の大切さに気付くことができたと考えられる。

○ 指導にあたっては、以下の点に留意する。

- 本単元では、自分の夢や中学校でがんばりたいことなどを大勢の前でスピーチする。伝える対象は、学級全体、ALT、5年生、学年全体や全校児童など、さまざまである。相手や場に応じた話し方を意識させ、どのようにしたら自分の思いが伝わりやすくなるのかを考えさせる。
- 第1時では、昨年度の6年生のスピーチのビデオを見ることにより、本単元のゴールをイメージさせる。前半は、職業を表す語に慣れ親しませる。5年生の学習で既習の語もあるが、初めて知る言葉もあるので、児童にとって難しいと思う語については、繰り返し発音させる。また、語尾に着目させ、日本語と同じように、職業を表す語の語尾には共通点があることに気付かせ、言葉の面白さを実感させたい。後半では、Hi, friends! 2のLesson 8に扱われているスピーチをきき、さらには、日本と外国の同年代の子どもが将来就きたいと願っている職業を比較させることで、世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることに気付かせたい。
- 第2時では、複数の話し方を提示して、どの話し方がスピーチにふさわしいか考えながらかき比べさせることによって、場面によって話し方が変わることやスピーチにふさわしい話し方に気付かせる。そして、スピーチビデオを繰り返し見たりきいたりすることによって、スピーチにふさわしい話し方を意識させながら、スピーチの英語表現にも慣れ親しませる。

- ・第3時では、目を閉じてJTEのモデルスピーチを音声のみでできると、具体物や身振り・手振りを交えながらのスピーチを見てきく場合と比べさせ、相手を惹きつけるための工夫を見つけさせる。その際、児童が伝えたい内容に近い表現をモデルスピーチによって繰り返しかせる。そして、物や写真など具体物を見せたり、動作を加えたりすることで、より相手を惹きつけることができることに気付かせる。また、日本語スピーチと英語スピーチをきき比べさせ、スピーチのはじめと終わりには必ずあいさつがあることに気付かせる。また、“Thank you for listening.”は、“ご清聴ありがとうございました。”と意味が同じことを知らせ、日本語スピーチと英語スピーチの似ているところを理解させる。
- ・第4時では、相手に何を伝えたいか、知っている言葉や表現を使って話す内容を工夫し、スピーチの練習をさせる。このとき、中学生に自分のスピーチをきいてもらい、スピーチにふさわしい話し方をしているか、動作や具体物などいろいろな方法で工夫して話しているかなどアドバイスをしてもらったり、よりよい話し方をきかせてもらったりする活動を設定する。
- ・第5時では、5年生を招待し、5年生とALT、中学校の先生が審査員となってスピーチコンテストを実施する。相手意識をもって、自分の考えや気持ちを進んで伝えようとしていたか、また、伝えたいことが相手に伝わるように声の明瞭さや速さ、抑揚や間はもちろん、動作や具体物などいろいろな方法で工夫して話していたかも基準として審査する。

5 目標

- スピーチの場面を意識し、自分の考えや気持ちを積極的に伝えようとする。(関心・意欲・態度)
- 知っている言葉や表現から、相手が伝えようとしていることを考えながらきく。(慣れ親しみ)
- 知っている言葉や表現を組み合わせ、自分の思いや考えを話す。(慣れ親しみ)
- 世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることを知り、英語と日本語の職業を表す語の成り立ちへの気付きを通して、言葉の面白さに気付く。(気付き)

6 評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への 慣れ親しみ		言語や文化に 関する気付き
○伝える相手の人数や場の広さに応じて、声の明瞭さや速さ、調子や間を意識して伝えようとしている。	○知っている言葉や表現を手がかりに、スピーチの大まかな内容をきいている。	○知っている言葉や表現を組み合わせ、夢や中学校でがんばりたいことを話している。	○世界には、様々な夢をもつ同年代の子どもがいることを知り、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付いている。

7 活動計画（全5時間 本時 1/5）

時	学習内容	評価の観点			評価規準（評価方法）
		関心 意欲 態度	慣れ 親しみ	気付き	
1 (本時)	<p>○職業を表す言葉を知り, 将来の夢を伝える表現をきく。 【職業の表し方を仲間分けしよう】 【同年代の子どもたちの夢を知ろう】 A: Hello, everyone! My name is ____. I want to be a ____. Because I like ____.</p>		○	◎	<ul style="list-style-type: none"> 英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して, 言葉の面白さに気付いている。 世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることを知り, 共通点や相違点に気付いている。 (行動観察) (ワークシート) (振り返りシート) 将来の夢とその理由を伝える表現をきいて, 相手が伝えようとしていることをきき取っている。 (行動観察) (ワークシート) (振り返りシート)
2	<p>○スピーチにふさわしい話し方に気を付けてきく。 【スピーチにふさわしい話し方を考えながらきこう】 【伝えていることは何だろう】 A: Hello, everyone! My name is ____. I want to be a ____. Because I like ____. I'm good at (教科). I want to study (教科) in junior high school.</p>		◎		<ul style="list-style-type: none"> スピーチする相手や場に適した話し方（声の明瞭さや調子, 話す速さなど）を考えながら, スピーチの大体の内容をきいている。 (行動観察) (ワークシート) (振り返りシート)
3	<p>○相手を惹きつける話し方の工夫を考えながらきく。 【相手を惹きつける話し方の工夫を見つけよう】 A: Hello, everyone! My name is ____.</p>	◎		○	<ul style="list-style-type: none"> スピーチで相手を惹きつけるための工夫（声の調子の変化や具体物の提示）を考えながら, 大体の

	<p>I want to be a ____.</p> <p>Because I like ____.</p> <p>I'm good at <u>(教科)</u>.</p> <p>I want to study <u>(教科)</u> in junior high school.</p> <p>I want to join <u>(クラブ名)</u> club.</p> <p>Because ____.</p> <p>Thank you for listening.</p>				<p>内容をきいている。</p> <p>(行動観察)</p> <p>(ワークシート)</p> <p>(振り返りシート)</p> <p>・知っている言葉や表現を組み合わせ、夢や中学校でがんばりたいことを話している。</p> <p>(行動観察)</p> <p>(ワークシート)</p> <p>(振り返りシート)</p>
4	<p>○伝えたい内容を工夫して中学生に話す。</p> <p>【伝えたい内容を工夫して話そう】</p> <p>A: Hello, everyone! My name is ____.</p> <p>I want to be a ____.</p> <p>Because I like ____.</p> <p>I'm good at <u>(教科)</u>.</p> <p>I want to study <u>(教科)</u> in junior high school.</p> <p>I want to join <u>(クラブ名)</u> club.</p> <p>Because ____.</p> <p>Thank you for listening.</p>	○		◎	<p>・スピーチコンテストを意識しながら、中学生に自分の思いを進んで伝えようとしている。</p> <p>(行動観察)</p> <p>(ワークシート)</p> <p>(振り返りシート)</p> <p>・知っている言葉や表現を組み合わせ、夢や中学校でがんばりたいことを話している。</p> <p>(行動観察)</p> <p>(ワークシート)</p> <p>(振り返りシート)</p>
5	<p>○ひびっこスピーチコンテストを開く。</p> <p>【ひびっこスピーチコンテストを開こう】</p> <p>A: Hello, everyone! My name is ____.</p> <p>I want to be a ____.</p> <p>Because ____.</p> <p>I want to be like ____.</p> <p>I'm good at <u>(教科)</u>.</p> <p>I want to study <u>(教科)</u> in junior high school.</p> <p>I want to join <u>(クラブ名)</u> club.</p> <p>Because ____.</p> <p>Thank you for listening.</p>	◎		○	<p>・5年生と教室でのスピーチを意識し、適切な声の大きさや明瞭さ、速さ、抑揚や間を考えながら伝えようとしている。(行動観察)</p> <p>(ワークシート)</p> <p>(振り返りシート)</p> <p>・知っている言葉や表現を組み合わせ、夢や中学校でがんばりたいことを話</p>

						している。 (行動観察) (ワークシート) (振り返りシート)
--	--	--	--	--	--	--

8 本時の展開

(1) 本時の目標

- ◎ 世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることを知り、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付いている。 (気付き)
- 知っている言葉を手がかりに、スピーチの大まかな内容をきいている。 (慣れ親しみ)

(2) 評価規準

- ◎ 英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付いている。世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることを知り、共通点や相違点に気付いている。 (気付き)
- 将来の夢とその理由を伝える表現をきいて、相手が伝えようとしていることをきき取っている。 (慣れ親しみ)

(3) 準備物

Hi, friends! 2, 昨年度のスピーチコンテストのビデオ, ワークシート, 振り返りシート

(4) 本時の展開

ACTIVITIES		全体への支援 (○)・努力を要する児童への手立て (●)・評価 (※)	
Children	HRT	ALT	
1 あいさつ Hello, everyone. I'm ____, thank you. And you?	Hello, everyone. How are you? I'm ____, thank you. ○英語であいさつを交わすことで、英語活動の始まりの雰囲気をつくる。	Hello, everyone. How are you? I'm ____, thank you. ○英語であいさつを交わすことで、英語活動の始まりの雰囲気をつくる。	
2 主活動 ① 単元のゴールの姿を確認する。	○昨年度の6年生のスピーチビデオを見せ、単元のゴールとして目指す姿をイメージさせる。 ○ビデオを一時停止しながら、話している内容を確認させる。 ○必要な情報をきかせるために、将来の夢やそのために頑張っていることなど、きく視点を与える。	○スピーチビデオを見て、よいところを称賛し、児童にエールを送って意欲を喚起する。 ●きき取りが難しいようであれば、将来の夢やそのために頑張っていることなどが分かるように強調し、繰り返し発音する。	

<p>② 本時のめあてを確認する。</p>	<p>職業を表す言葉を知り、将来の夢を伝える表現をきこう。</p>	
<p>③ 活動Ⅰをする。</p>	<p>【職業の表し方を仲間分けしよう】 まず、職業の表し方をさいたり繰り返したりしながら、発音の共通点を見つけ、気付いたことをワークシートに書く。次に、日本語（漢字）との共通点を見つける。</p>	
	<p>〈グループ1〉 語尾が-er, -or teacher, singer, doctor, farmer, zoo keeper, baker, fire fighter, soccer player, bus driver 〈グループ2〉 語尾が-ist florist, artist, dentist 〈グループ3〉 その他 cook, cabin attendant, comedian, vet</p>	
	<p>○児童とともに発音し、発音が難しい表現や言葉を繰り返し言うようにさせる。 ○職業を変えながら、I want to be a <u>（職業）</u>の表現に慣れ親しませることで、<u>（職業）</u>を変えたら将来の夢を伝えることができることに気付かせる。 ○意図的にピクチャーカードを黒板に貼り、繰り返し発音させることで、音声から共通点に気付かせる。 ※英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付いている。【気づき】（行動観察・ワークシート・振り返りシート）</p>	<p>○リズムよく将来の夢を伝える表現を繰り返すことで、<u>（職業）</u>を変えたら将来の夢を伝えることができることに気付かせる。 ○語尾の発音の仕方を意図的に強調し、児童が語尾の違いに気付きやすくする。 ※英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付いている。【気づき】（行動観察・ワークシート・振り返りシート）</p>
<p>④ スキット練習をする。</p>	<p>A: I want to be a <u>（職業）</u>.</p>	
<p>⑤ 活動Ⅱをする。</p>	<p>【同年代の子どもたちの夢を知ろう】 まず、Hi, friends!2 P40 Activityをきき、きき取った内容をワークシートに記入する。次に、世界の同年代の子どもたちの夢と自分たちの夢を比較し、気付いたことをワークシートに書く。</p> <p>○必要な情報をきかせるために、将来の夢やそのために頑張っていることを話したり、 ○夢を語る子どもになりきって、写真を見せたり、ジェスチャー</p>	

	<p>いることなど、きく視点を与える。</p> <p>●繰り返しきく機会をつくることで、知りたい部分を注意深くきき取らせる。</p> <p>※将来の夢とその理由を伝える表現をきいて、相手が伝えようとしていることをきき取っている。【慣れ親しみ】（行動観察・振り返りシート）</p>	<p>を付けたりしながら、行ってみたい国とその理由を紹介する。</p> <p>●きき取りが難しいようであれば、夢や好きなことなどが分かるように強調し、繰り返し発音する。</p> <p>※将来の夢とその理由を伝える表現をきいて、相手が伝えようとしていることをきき取っている。【慣れ親しみ】（行動観察・振り返りシート）</p>
⑥ スキット練習をする。	<p>A: I want to be a <u>（職業）</u>. (baseball player, soccer player, doctor, baker, teacher, singer など) Because I like ____.</p>	
	<p>○スキット練習をしながら、学級のなりたい職業のランキングを挙げ、自分たちと外国の共通点や相違点を見つけさせる。</p> <p>※世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることを知り、共通点や相違点に気付いている。【気付き】（行動観察・ワークシート・振り返りシート）</p>	<p>○外国のなりたい職業ランキングを児童に伝える。</p> <p>※世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることを知り、共通点や相違点に気付いている。【気付き】（行動観察・ワークシート・振り返りシート）</p>
3 振り返り	<p>○本時のねらいが達成できたか自己評価させ、達成感をもたせる。</p> <p>○児童のよい気付きをみんなの前で紹介し、個を認め、全体のものにする。</p>	<p>○本時のねらいが達成できていた児童を評価し、みんなに紹介する。</p>
<p>振り返りシート記述：漢字で職業を表すときに、「者」「士」「手」などの漢字を使うように、英語で職業を表すときも語尾に共通点があることが分かった。 外国の同年代の子どもの夢を知って、「サッカー選手」は日本と同じように人気だということが分かった。</p>		
4 あいさつ	<p>○全員であいさつをし、お互いのがんばりを認め合うとともに、感謝の気持ちを表現させる。</p>	<p>○楽しい雰囲気であいさつをし、次時への意欲をもたせる。</p>

